

～ 労働災害防止と一人ひとりが健康で安全に働ける  
魅力ある職場環境の実現と企業の持続的成長に向けて～

## 「宮城職長教育等講師の会」に早速、入会しましょう

### 労働を取り巻く情勢と課題

就業形態の多様化、DX化の推進、自発的な安全衛生管理への意識啓発、多発する在来型・行動型の労働災害防止、健康診断の実施と適切な事後措置、ストレスチェックの実施と結果の活用、化学物質の自律的管理 etc.

### 労働災害防止には職長等の教育とその講師のスキルアップ等が必要

労働災害防止には、労働現場のキーパーソンである職長等の教育とそのレベルアップが必要不可欠

その実効性を高めるうえで職長等に安全衛生教育を行う講師資格であるRST講座（中央労働災害防止協会が実施）又は新CFT(コフト)講座（建設業労働災害防止協会が実施）を修了した方のスキルアップ等が重要

### 「宮城職長教育等講師の会（仮称）」を設立 入会のご案内

この度、上記の講師資格修了者の資質の向上と相互啓発等を目的として、「宮城職長教育等講師の会」を設立（令和7年3月設立）

同講師資格を有して事業場内で職長教育等を担当している方、同講師資格を活かして職長教育等に携わっている方には、この機会に、是非、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

#### <計画している主な活動>

- ・ 会員に対する情報提供
- ・ 会員間の情報共有
- ・ 研鑽のための研修会等の開催 etc.

### 「宮城職長教育等講師の会」の入会方法

ご入会の詳細は、宮城労働基準協会のホームページの専用サイトをご覧ください。

専用サイト

<https://www.rouki.or.jp/pages/188/>

入会申込フォーム

<https://miyagirouki.form.kintoneapp.com/public/a6ea7f8c4a39a831397981772d08c704c9980cb759844f8d48ca23e666d847a4>



専用サイト



入会フォーム

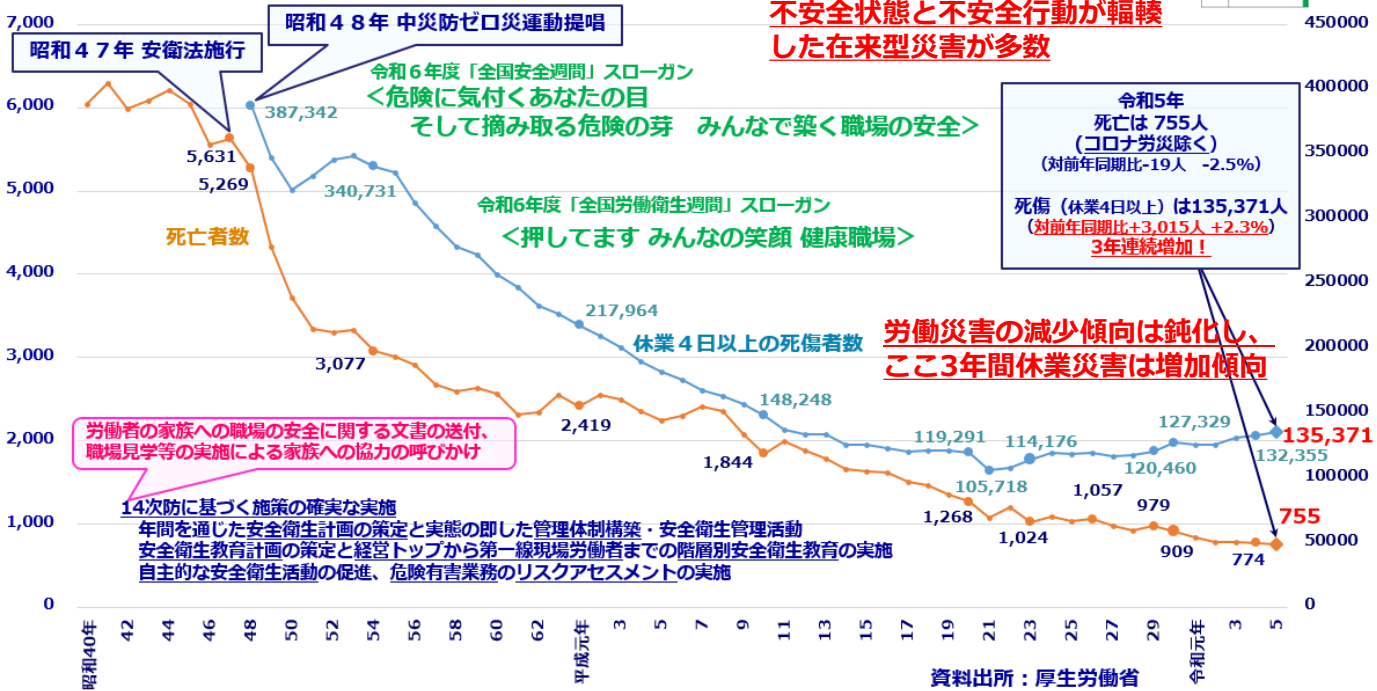
公益社団法人 宮城労働基準協会

TEL:022-265-4091 ホームページURL:<https://www.rouki.or.jp/>

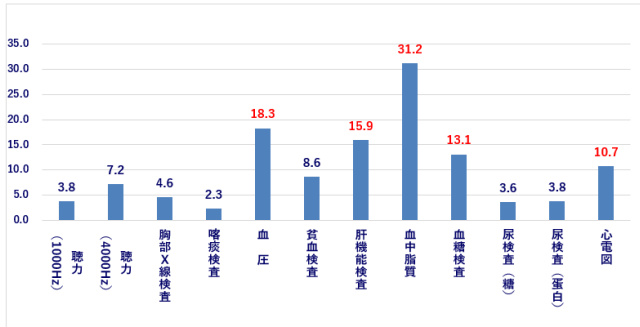
# 労働災害等の状況

労働災害防止と心身ともに健康で快適な職場環境実現には安全と衛生が一体となった自主的安全衛生管理が重要です

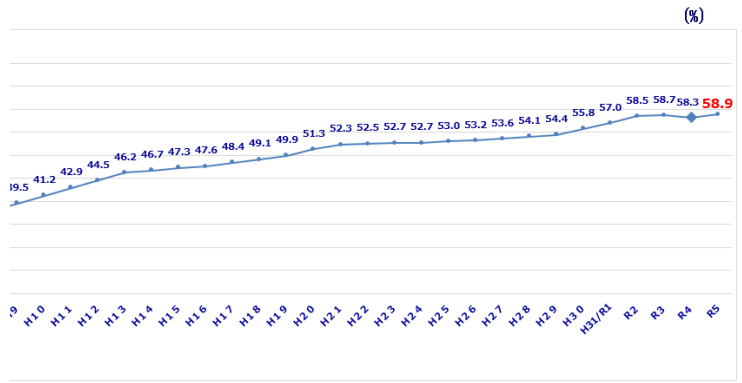
## 全国の労働災害の年別推移



### 定期健診有所見率 (全国) 健診項目別 (令和5年)



### 定期健診有所見率の推移 (全国)

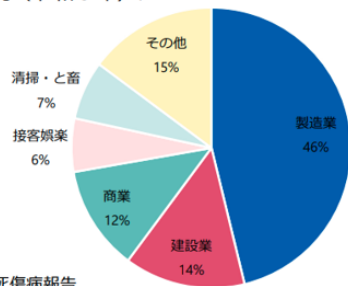


### 個別規制の対象外となっている化学物質による労働災害が全体の約8割

＜化学物質による労働災害発生状況 (令和3年)＞

起因物	件数
有害物	156
爆発性の物等	13
可燃性のガス	38
爆発性の物等	16
その他の危険物、有害物	249
合計	472

出典：労働者死傷病報告



	件数 (平成30年)	障害内容別の件数(重複あり)		
		中毒等	眼障害	皮膚障害
特別規則対象物質	77 (18.5%)	38 (42.2%)	18 (20.0%)	34 (37.8%)
特別規則以外のSDS交付義務対象物質	114 (27.4%)	15 (11.5%)	40 (30.8%)	75 (57.7%)
SDS交付義務対象外物質	63 (15.1%)	5 (7.5%)	27 (40.3%)	35 (52.2%)
物質名が特定できていないもの	162 (38.9%)	10 (5.8%)	46 (26.7%)	116 (67.4%)
合計	416	68 (14.8%)	131 (28.5%)	260 (56.6%)

出典：労働者死傷病報告

化学物質の性状に関連した強い労働災害 (有害物等との接触、爆発、火災によるもの) が年間約500件発生

製造業のみならず、建設業、第三次産業における労働災害も多い